

令和元年 6月 7日

智頭町議会
議長 谷口 雅人 様

智頭町議会議員 安道 泰治

〃 國本 誠一

〃 河村 仁志

〃 高橋 達也

〃 岸本 眞一郎

〃 谷口 雅人

議員派遣結果報告書

令和元年5月10日に決定された議員派遣について、下記のとおり報告します。

記

- 1 派遣名 議会報告会
- 2 目的 智頭町議会基本条例第5条の規定に基づく議会報告会
- 3 派遣場所及び期間
 - (1) 智頭町埴師54番地 「土師地区公民館」 令和元年5月22日
 - (2) 智頭町新見225番地2 「富沢地区公民館」 令和元年5月23日
 - (3) 智頭町大背205番地 「那岐地区公民館」 令和元年5月24日
- 4 概要
別紙1～3のとおり

令和元年度 議会報告会結果概要（土師地区）

- 1 日 時 令和元年5月22日（水）19：00～20：40
- 2 出席議員 安道、國本、河村、高橋、岸本、谷口 6人
- 3 参加者数 25人（男24人、女1人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明（約30分）後に意見交換

（1）質疑応答

子ども達への施策について

問 行政評価で森のようちえんが取り上げられているが、政策提言の中にも子ども達への施策に関するものがない。議会では議論されていないのか。

答 数多い事業の中で10項目を抽出したもの。通常の委員会などでは、子ども達に関する施策も議論している。

森のようちえんについて

問 移住には役立っているのだろうが、町民のためにはどうなのか。町民は賛成なのか。

答 移住者の数ではトップとなっているが、行政評価で、卒園児が義務教育に移行しない実態があることを指摘している（サドベリースクール的人数などを説明）。

住宅改修リフォーム助成事業について

問 どのような改修が対象になるのか。

答 町内の業者に請け負わせて20万円以上の工事。補助率15%で補助額の上限は15万円となっている。現在役場で申請を受付中だ。

議会改革について

問 若い層が議員になって仕事との両立がしやすいよう、数日前の農業新聞で片山善博氏が夜間議会の開催を提言されていた。また、年に4回の定例会ではなく通年議会も提案されていた。こうした改革も検討が必要ではないか。

答 片山氏は各種の新聞紙上や雑誌、マスコミで議会改革に関する持論を述べられている。

夜間議会は、以前に試行したことがあるが傍聴者が少なく取りやめた経緯がある。また夜間議会では町職員の勤務体制の問題や、審議時間が十分に確保できない懸念がある。

通年議会は他県で事例があるが、成功例は少ないようだ。

問 町民アンケートの結果をどのように反映させるのか。

答 厳しい意見が多いが、議会の実態が理解されていないための意見も多いと感じる。報酬を増額する場合は根拠を明確にする必要がある。

議会や議員に対する資質をどう改善するかが重要だ。

火葬場廃止後の状況について

問 町民からどのような意見が出ているか。

答 良くなったという声は聞いていない。

問 若い層は将来の財政負担の面から鳥取に出たほうが良いという意見が多かった。残してほしいという意見は、場所の目途もなくわがままだと感じていた。

答 存続を主張していた議員も、若い人に将来の財政負担が影響しないようにという視点であり、火葬場だけでなく他の町営施設も含めた上でのものであった。

道の駅整備について

問 石谷家住宅への来館者が減少しているなど、本町へ観光で来町しても食事などを含めての滞在時間が少なく、他市町へ観光客が流れているため、道の駅の整備の必要性を感じる。

答 以前も検討したが適地選定が困難で今後の課題だ。河野神社への参拝者は圧倒的な多さであり、既存施設と連携する視点も大切だ。

(2) 要望・提案

駅前整備のビジョン作成について

森林組合が移転したが、将来の産業会館の廃止や新図書館の整備など、駅前整備の全体像を整理検討し、町民に夢を提供すべきではないか。

因美線の存続について

乗客数が減少し、このままでは津山まで行けなくなることを心配している。廃止されないよう検討が必要だ。

(議会の意見)

毎年、春と秋のイベント列車「スローライフ列車」は発売後にすぐ完売する人気だ。存続は那岐駅から美作河井駅間がネックだ。

令和元年度 議会報告会結果概要（富沢地区）

- 1 日 時 令和元年5月23日（木）19：00～20：30
- 2 出席議員 安道、國本、河村、高橋、岸本、谷口 6人
- 3 参加者数 8人（男5人、女3人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明（約30分）後に意見交換

（1）質疑応答

コミュニティーセンターについて

意見 長年の懸案事項だったが、予算を可決していただき感謝。早く着工してほしい。うまく利活用していくことは地元の責務だが、議会も引き続き協力していただきたい。

外灯新設について

問 新設してほしい道路がある。夜間に通行者がある。

答 地元対応が基本だ。

人口減少対策について

問 農林業の担い手不足が懸念される。議会で議論してほしい。

答 定住策として住宅改修リフォーム事業を復活させた。

良い事例として、今年の小学校の新入生は51人だが、生まれた年は37人であり、差の14人は移住やUターンということになる。

議会の議論も十分ではなく反省している。

問 結婚したくない若者が多くなっていることや、若者が出ていき少なくなっている。昔のように青年団があればいいのだが。智頭に仕事場が無いことも原因だ。

答 地区行事で婚活イベントを行っているが、結婚まで至るケースは少ない。以前に青年団結成に向けて数人がやりかけたことがあったが盛り上がらなかった。

役場職員に町内の若者がなりたがらない。智頭にも仕事場はある。

森のようちえんについて

問 卒園児が学校に行かないということを知ることが。

答 （サドベリースクールの状況を説明）議会でも指摘しているが改善に至っていない。今後の課題だ。

議会視察の成果

問 視察の成果を町政に活かすため、執行部と話し合いをすべきだ。

答 政策提言として活かしているが、議会改革で常任委員会の活性化を旨としており、委員会を活用していきたい。

(2) 要望・提案

ひかり電話（固定電話）の料金改善について

使っていないのに毎月約5千円の請求がくる。関係先から割引の話で電話がかかってくるが、智頭町と若桜町は対象外になるとのことで腑に落ちない。改善してほしい。

令和元年度 議会報告会結果概要（那岐地区）

- 1 日 時 令和元年5月24日（金）19：00～20：30
- 2 出席議員 安道、國本、河村、高橋、岸本、谷口 6人
- 3 参加者数 26人（男22人、女4人）
- 4 概 要 「議会報告会資料」の説明（約30分）後に意見交換

(1) 質疑応答

火葬場について

問 鳥取に出ることになったが、住民負担はどうなるのか。

答 負担は増える。

産業会館の今後について

問 森林組合が移転したが今後の予定はどうか。

答 広域消防も移設する計画であり、役場、総合センターを含め将来計画を検討しなくてはいけない。

町有林の経営管理について

問 どのような状況か。

答 自伐林業を目ざす若者などへの提供や、従来からサングリーンとの施業契約などで、間伐などを行っている。

問 管理は町に配置されたアドバイザーが担っているのか。

答 新しく制定された森林経営管理法を推進するためのアドバイザーであり、町有林管理ではない。

空き家対策について

問 どのような状況か。

答 （町が調査した空き家の実態を説明後）町条例や対策計画が整った段階であり、今後具体的な対策に向かうことになる。

新図書館について

問 建設費の財源として過疎債と基金の割り振りはどのような考えで決まったのか。

答 償還に有利な過疎債の枠を優先確保した上で、残りを基金で充当したもの。

問 維持管理費はどの程度になるのか。

答 議会で質問するが詳細は固まっていない。

問 複合施設にすべきであったのではないか。

答 議会で質問したが、単独施設として建設することが町長公約であったこと、複合施設化は現段階では荷が重いという答弁であった。

議会改革について

問 無投票にならないほうが良いので、報酬や定数はよく見極めて判断してほしい。

答 議会や議員の資質向上が議会改革の本旨であり、そのために報酬、定数はどうあるべきかという視点で対応したい。

問 現在の議員は、議員報酬は納得した上で立候補したのではないか。安いというなら辞職すればよいではないか。

答 我々は承知の上で立候補したが、無投票になったので、その原因の一つとして報酬額が少ないことがあるのではないか、特に若い方に対してとの懸念がある。

民生委員の女性数向上について

問 現在は町全体で女性は5人だ。最低各地区で1人は担うべき。今年改選となるが議会も応援してほしい。

答 議員の女性数増加も課題だ。

政策提言の智頭林業の再生について

問 独自政策の強化とあるがどのような考えか。

答 国や県の補助制度以外に町独自の補助制度をとという意味合いだ。

(2) 要望・提案

なし